

# I 区役所庁舎の誕生



浅草区役所庁舎(東京都公文書館蔵)明治19年(1886)頃

現在、東京都23区には、それぞれに区役所庁舎が建てられています。このように、東京において区ごとに庁舎を建てるようになったのは、明治11年(1878)、「郡区町村編制法」によって、東京が15区6郡に分けられた時のことです。

東京都公文書館蔵の重要文化財「東京府・東京市行政文書」の中には、明治時代～昭和時代前期(戦前期)に建てられた区役所庁舎の新築計画・着工・竣工、開庁後の修理工事などに関する文書と図面(青焼き図面も含む)類を年度ごとに収めた簿冊があります。これらの簿冊を追っていくと、区役所庁舎は、最新の材料を用い、近代の歩みを象徴するモダンデザインで建てられたことが分かります。

ここでは、東京の中心を形成した15区の区役所庁舎誕生について見てみましょう。